

丸野健一郎議員



Q 南阿蘇コミュニティセンターの事業実績及び費用対効果は

A 初年度から大きな成果をあげている

ついて伺いたい。また、これからの事業展開についての考えは。

企画観光課長

アウトドアを

キーワードに着眼型、いわゆる長期滞在型の観光形態

にソフト替えをし、地域活性化にテコ入れを行なっている。2月26日オープンの際には10カ月目を迎えており、昨年の阿蘇中岳噴火以降、観光客減少が予測されたが、順調に客足も伸びている。10月末までの客数1万7千人と当初見込みの125%と好成績を残している。

丸野議員
南阿蘇村コミュニティセンター（モンベル南阿蘇店）は、オープンして10カ月になる。また5月には『あそ望の郷くぎの』も道の駅に認定され相乗効果でかなりの賑わいを見せている。これまでの事業実績や費用対効果に



賑わいをみせるモンベル

また、村主催のアウトドア関連イベントにも積極的に応援いただいている。道の駅利用だけにとどまらず、提携施設を中心に村内観光施設の利用や体験、宿泊等へも大きな貢献をしている。税金についても当初見込まれたとおりの成果があり、十分費用対効果に満足できる。

村長

また、『あそ望の郷くぎの』が道の駅の認定を受け、新しく増設した駐車場等、施設同士が相乗効果を生み出し隣接する、あじわい館の上半期の決算も前年比111%と好結果が出ている。

初年度において、法人県民税が3千数百万円、村に法人住民税が6百数十万円入っている。税制上仕方ないことだが、県にも看板やパンフレット等の協力をしてもらうようお願い

いしていく。

モンベルは会員とのつながりも深く現在70万人を突破したということ、村の観光紹介や、農産物を会員につなげていくこともお願いしている。村も大きな投資をした事業であるので、絶えず新しい感覚を持って取り組んでいきたい。

Q スクールバス、バス停看板設置を

A 学校との連携を強化し安全確保に努める

式のバス停看板の設置をお願いできないか。

教育委員会事務局長

4月1日に南阿蘇中学校が開校する。中学校においては新しい通学路となることから、小学校も併せて、全般的に見直す時期と判断した。村内通学路において、児童生徒がより安心して通学を行えるよう、村通学路交通安全プログラムを策定し、安全性確保を図っている。

丸野議員

A

南阿蘇西小学校のスクールバスが立野地区内を通っているが、道が狭く、見通しの悪い場所がある。子ども達の安全のために、可動

なお、各小・中学校において危険箇所を調査している。危険度に応じた緊急性を勘案しながら改良・改修に努めていきたい。御指摘の立野地区は、危険なバス停が2カ所ほどあると確認した。移動可能なバス停看板の設置あるいは道路自体に「通学路児童注意」など貼り付け表示による減速注意喚起など、それぞれの現場でどのよ



安全対策が望まれるバス停

丸野議員
村の宝である子ども達の安全確保のために立野地区だけでなく、すべての通学場所での確認・対策をお願いしたい。